

天瑞山 大安寺 護寺会だより

編集・発行 大安寺護寺会広報部
恵庭市大町4丁目2番25号 大安寺内
TEL (0123) 34-1093
FAX (0123) 33-8005
ホームページ URL <https://dianji.net>



大本山永平寺 押見俊哉老師焼香師記念 大安寺本山参拝団 令和7年御征忌

年頭のご挨拶



大安寺護寺会 会長
大安寺 住職
押見 俊哉

西暦2026年（邦歴令和8年・丙午・仏紀2592年）を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、檀信徒の皆様のご厚情ご協力を賜りましたことを篤く御礼申し上げます。

さて、国内外の情勢の変化は激しさを増している昨今ではありますが、輝かしい新年を迎えて、本年こそは安定し平穏で安穩に暮らせる年でありますようにと切に願うものであります。

さて、昨年は巻頭の写真の通り、9月28日に大本山永平寺にて高祖道元禪師さまの御命日法要（御征忌法要…ごしようき）に、有難いことに禪師さまに代わり導師を勤めさせて頂く栄誉を賜りました。

この法要に参列するために、大安寺本山参拝団として37名の檀信徒の皆様にご参加を頂きまして、誠に感謝に堪えません。

昨年は道元禪師が師匠の如浄禪師の法を嗣いで800年目の記念する年でありました。この節目の年に檀信徒の皆様と共に御本山に参ることができ感慨無量であります。

本年は先代住職の23回忌法要が10月の両祖忌にて勤まります。皆様お誘い合ってお寺に参られますようお願い申し上げます。

「大本山永平寺参拝と金沢4日間」

の旅に参加して



千田 正行

私は恵庭市内の農村地区で稲作農家に生まれ、幼少期から我が家の菩提寺は大安寺でした。父親は檀信徒としてお寺で法要があると農作業の手を休め、おそらく1時間もあるう砂利道を自転車、のペダルを漕ぎ大安寺に行き、その日の出来事を母親に話していたのを覚えています。

無口な父はお酒が入ると「ジャバは死ぬまで勉強だ」が口癖で、ご先祖を供養してくれるのだからとお寺に向き、幼かった私も何回かは連れてもらい、ハッカパイプを買ってもらった記憶があります。

大安寺の本山である永平寺へは以前から行ってみたい気持ちがありました。が、なかなか機会がなく、テレビ・YouTubeなどを観てその成り立ち等を見聞きしてきました。今回大安寺住職が本山での法要の導師を務める3泊4日の日程での参拝旅行があると知り、早速夫婦で参加させて頂きました。寺族・檀信徒合わせて総勢37名の参拝団となりました。

1日目は、新千歳空港から羽田空港乗り継ぎで小松空港に降り、大型バスを切りバスで永平寺に向かいました。

宿である「親禪の宿 柏樹閣」にはまだ明るい時間に着き、永平寺の門前町を散策することができました。

2日目は、早朝4時に永平寺に向かい、大安寺参拝団の先祖供養の法要では、参加者一人一人の名前が読み上げられ、禪師さまよりご法話を拝聴し、ご一緒に集合写真に入ってもらいました。

一度宿に戻り朝食等を済ませ、今回のメインであります10時からの法要の準備をし本山に上ります。

この度、大安寺住職が曹洞宗の中で最大の行事である、大本山永平寺での高祖大師御征忌（永平寺の開祖である道元禪師さまのご命日を追悼する大法

要で毎年9月23日から29日までの1週間行われます）の焼香師（導師）を務めるのです。

曹洞宗のお寺が全国で1万5千ヶ寺あり、その中で永平寺直末のお寺は160ヶ寺程だそうですが、その直末寺の代表になり禪師さまに代わって9月28日の法要の1座の導師を、ご住職が務める大役に任命された事は、大変名誉な機会を頂いたのだと思います。

法要がある法堂へは長く続く回廊階段を上がって行かなければなりません。が、足腰に自信が無い私には有難いことにエレベーターがありました。

法要には私たち一行ともう1グループが並び、これから出会う光景にわくわくしていると静かで穏やかな中、読経が始まり、おそらく百名はいるであろう僧侶が整然と並び、その中心にご住職が入られ、その近くに清純さん・大俊さんもお袈裟を身に着け、とても凛々しく見えます。大勢の僧侶が一心にお唱えする荘厳な雰囲気を感じました。

法要が終わり受付処で一般の参拝者が付けていないリボンをお返しして外に出ると、晴ればれた青空がとても清々しい思いでした。

さあ、これから観光へと変わります。この日は福井県坂井市にある「一筆啓上火の用心 お仙泣かすな馬肥やせ」で有名な「日本一短い手紙の館」と「丸岡城」を見学し、今回の旅行中同じ貸し切りバスで「東尋坊」へと向かいました。

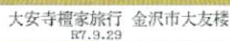
せり立つ柱状節理が壮観で、サスペンスのロケ地になりテレビで観る所なのがよくわかりました。

この日の宿泊地は近くのあわら市の「まつや千」というホテルです。



4日間の行程を同じバスでゆったりと座ることができ、運転手さんもバスガイドさんもベテランらしく移動中の車内は

次回、参拝旅行が計画されたなら、皆様も是非参加しては如何でしょうか。非日常的な空間に身を置き、厳肅な中で心身ともに洗われる事でしょう。その後の観光も楽しいですよ。私といえば親の口癖を回想し、次回のために健康でいなければならないと思うのです。

[illegible]

令和8年 年間行事予定

元朝大般若祈祷会法要

1月1日(木) 午前0時

厄払い追儺会「祈祷お札渡し」

2月1日(日) 午後3時

釈尊涅槃会法要

2月13日(金) 午前11時

春季彼岸会・水子供養法要

3月20日(金) 午前11時

釈尊降誕会法要

5月8日(金) 午前11時

地藏供養祭

7月18日(土) 午前11時

盂蘭盆会法要

8月16日(日) 午前11時

秋季彼岸会・水子供養法要

9月23日(水) 午前11時

両祖忌法要・先住23回忌

10月16日(金) 午前10時

釈尊成道会法要

12月8日(金) 午前11時

※皆でお寺へ参りましょう。

令和8年 年回表

● 1周忌 令和 7年

● 3回忌 令和 6年

● 7回忌 令和 2年

● 13回忌 平成 26年

● 17回忌 平成 22年

● 23回忌 平成 16年

● 27回忌 平成 12年

● 33回忌 平成 6年

● 37回忌 平成 2年

● 50回忌 昭和 52年

● 100回忌 昭和 2年

※本年、右に該当する方がないかをご確認ください。

志納金について

お寺の法要の際に、檀信徒も皆様からの「志納金」をお願いしております。

「志納金」とは読んで字のごとく、皆様の「お志し」を「納める」ことで、法要行事のお供え物やお花・お線香・ローソク、更にはご参詣の皆様は法要後にいただくお斎(おとき/昼食)の食材等に充てられます。

ご志納下さいました方々のご芳名は、法要に参列されなくともその法要において読み上げられ、ご志納された皆様の布施の功德を各家のご先祖さまにご回向をいたします。

ご志納された方には、ご回向されたことの証明書であります「**回向之證**」①をお渡しいたします。

ご志納の納め方は、法要参詣時または事前に、「志納金袋」②をお寺に届けられるか、法要前に「払込取扱票」③にて郵便局からお振込み下さい。

